

科目ナンバー	LIN-2-003-e			科目名	言語学I		
教員名	小林 恵美			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	言語学とは、言葉の特性を研究する学問です。この授業では、言語音を研究する音声学、語の構造を扱う形態論、文法の主領域で、文章構造を研究対象とする統語論について学んでいきます。						
到達目標	言語学の基礎知識や方法論等を学び、日常生活に於ける言葉の使用に対する意識を高める。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義及びグループ発表を中心に実施。 グループ発表の準備は、授業時間外に実施(発表内容は評価方法欄を参照)。 また、発表担当者以外の方も、テキスト範囲を授業前に読み、内容を把握して授業に参加することが前提。 授業時間では、内容理解を促す目的で、グループやペアでの話し合いも随時実施。 前期授業の最終日には、ポスター発表を実施。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	講義だけでなく、ペアやグループ活動、グループでの発表を実施することも多い為、積極的に参加できる方。						
アセスメントポリシー及び評価方法	①グループ発表(20%) 内容:テキストの指定箇所について。発表はテキストの内容をまとめることで十分だが、テキストを音読するのではなく、可能なかぎり自身のことばで説明するよう努めること。必要に応じて関連するテキスト以外の資料にも目を通し、補足情報も加えられると尚良い。当てはまる例など内容に関連する事柄を紹介したり、何故そう考えたのか理由を説明したりするのも、良い。 発表時間:20分～30分。発表時間はグループ内で平等になるよう考慮すること。 視覚資料:パワーポイントを必ず作成。発表日の前日(月)の夕方5:30までに担当者に添付送信。授業時間までに担当者がmoodleに視覚資料をアップロードするため、授業でのパワーポイント資料の配布はしない。 採点:発表15%、視覚資料5% ②授業での学びについての内省文(10%) ③リフレクション(20%)教科書・授業で理解したことを自分のことばでまとめ、それに関する意見に理由や例を必ず添えて文章化したもの。この他、学習内容に該当する例を提示し、その関係性や理由を説明するのも良い。 ④中間テスト(20%)・期末テスト(20%)学習内容の学びの確認として、テキストの復習問題他テキスト内容を題材にした問題。 ⑤ポスター発表(10%)2～3名のグループで、The five minute linguist: Bite sized essays on language and languages" から興味のある章を選択し、その内容をポスターにまとめる。少人数の聴衆に向けて、担当章の内容説明を数回実施。上記の5項目を基に総合的に評価。以下評価に関する注意点: 1.発表担当日に欠席(公欠は除く)した場合は減点の対象となる。但し、公欠の場合でも後日発表内容に関するレポート提出が求められる。 2.発表担当日以外で公欠の場合は、予定に沿って教科書を読み、理解した内容を自分のことばでまとめたレポートを提出。提出されない場合は、総合点より減点。 3.リフレクションは原則として指定提出日時以降は受け取らない。"						
教材	【著】ジョージ・ユール【翻訳】今井邦彦・中島平三(1987).『現代言語学20章:ことばの科学』.大修館書店 その他配布資料						
参考図書	Yule, G. (2010). The study of language (4th ed.). Cambridge: Cambridge University Press. Rickerson, E. M., & Barry Hilton, B. (Eds.). (2012). The five minute linguist: Bitesized essays on language and languages (2nd ed.). London: Equinox. 風間喜代三・上野善道・松村一登・町田健(2004).『言語学第2版』.東京大学出版会. 佐久間淳一・加藤重広・町田健(2004).『言語学入門』.研究社.						
内容・スケジュール							

1週目			
授業学修内容	シラバス授業: 授業の概要、授業評価方法の説明、テキストの紹介他		
授業外学修内容	第1章を読み、質問を用意	時間数	1
2週目			
授業学修内容	1.言語の起源についての諸説「ことばは神からの授かりものだろうか?」という問いに始まり、言語の起源に関する諸説について学ぶ		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第2章を読み、質問を用意	時間数	2
3週目			
授業学修内容	2.文字の発達文字がいかに発達してきたか、その道のりについて学ぶ		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第3章を読み、質問を用意	時間数	2
4週目			
授業学修内容	3.言語の特性人間言語の特性(超越性・恣意性・生産性・文化的伝承・非連続性・二重性)について考える		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第4章を読み、質問を用意	時間数	2
5週目			
授業学修内容	4.動物と人間言語動物へのことばの指導研究事例について学び、動物と人間言語の違いについて考える		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第5章を読み、質問を用意	時間数	2
6週目			
授業学修内容	5.言語で使われる音様々な言語音はどのように産出されているのか、子音と母音に分けて学ぶ		
授業外学修内容	中間テストに向けて復習 指定された章について内省文を作成	時間数	4
7週目			
授業学修内容	中間テスト		
授業外学修内容	第6章を読み、質問を用意	時間数	1
8週目			
授業学修内容	6.言語の諸音型音素と異音の違いについて学び、個別言語の音の範囲につて考える。また、実際の話しことばに見られる同化や音脱落等について理解する		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第7章を読み、質問を用意	時間数	2
9週目			
授業学修内容	7.単語と語形成過程単語がどのように作られているのか、接頭辞、接尾辞、接中辞の使われ方や、語形成について学ぶ		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第8章を読み、質問を用意	時間数	2
10週目			
授業学修内容	8.形態論自由形態素や拘束形態素など様々な形態素の種類やその働きを理解する		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第9章を読み、質問を用意	時間数	2
11週目			
授業学修内容	9.句と文:文法文法について考え、規範的接近法や記述的接近法について学ぶ		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く、第10章を読み、質問を用意	時間数	2
12週目			
授業学修内容	第10章:統語論生成文法他		
授業外学修内容	講義での学びについて内省文を作成、復習問題を解く	時間数	1
13週目			

授業学修内容	Flex day		
授業外学修内容	ポスター発表の準備(配布されたリーディングを読む)	時間数	2
14週目			
授業学修内容	ポスター発表準備The fiveminute linguist: Bitesized essays on language and languages" から興味のある章を選択し、その内容をポスターにまとめる。受講者数によるが、2～3名で1章(4～5頁程度の英文)担当。ポスター発表実施方法については、本授業で説明。"		
授業外学修内容	ポスター発表の準備(発表内容の準備とポスター作製)	時間数	3
15週目			
授業学修内容	ポスター発表少人数の聴衆に向けて、担当章の内容説明を数回実施。		
授業外学修内容	発表からの学びを振り返るワークシート作成 期末テストに向けて復習 指定された章について内省文を作成	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		32	
その他に必要な自習時間		58	

Number	LIN-2-003-e	Subject	Linguistics I		
Name	小林 恵美(Kobayashi Emi)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	Linguistics is the scientific study of human language. This course will cover phonetics, phonology, morphology, and syntax. Additional topics include language origins, the key properties of language, and animal communications. Upon successful completion of this course, you should be able to understand and explain what these subareas of linguistics entail.				